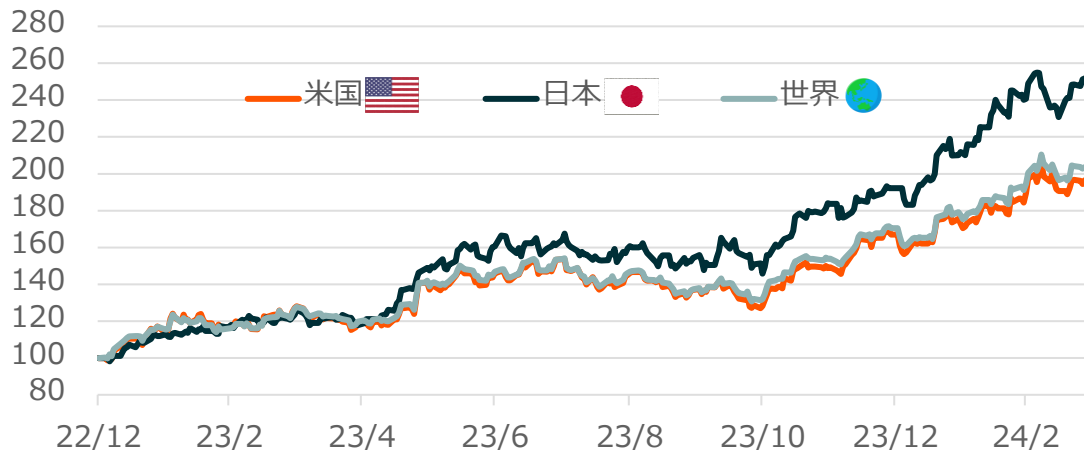


半導体マンスリー（日本） 2024年4月



半導体指数の推移・騰落率

(2022/12/30~2024/3/29)



騰落率		
米国	1か月	3.9%
	6か月	43.6%
	23年初来	96.7%
日本	1か月	6.2%
	6か月	65.6%
	23年初来	155.6%
世界	1か月	5.2%
	6か月	48.9%
	23年初来	104.5%

【半導体関連銘柄】3月の月間騰落率（2024年3月29日時点） ※FactSet Japan Semiconductor Index構成銘柄

銘柄名	騰落率	銘柄名	騰落率	銘柄名	騰落率	銘柄名	騰落率	銘柄名	騰落率
テイコ	18.5%	ソシネクスト	10.3%	アルパアルパイン	8.9%	菱洋エレクトロ	-	イスクエレクトロニクス	4.8%
SCREENホールディングス	6.6%	東京精密	19.1%	TOWA	14.1%	ルネサス	-7.2%	テラソール	-2.0%
東京エレクトロ	7.3%	アルバック	7.0%	サンケイ電気	-11.1%	三益半導体工業	-0.8%	サム	-7.6%
アドバンテス	-1.3%	マニホールディングス	-10.0%	東京エレクトロデバイス	-4.4%	山一電機	10.2%	ジェイ・イー・ティ	-5.2%
レーザーテック	4.6%	KOKUSAI ELECTRIC	-5.5%	芝浦エレクトロニクス	-2.3%	日本セラミック	0.4%		
ルネサスエレクトロニクス	8.8%	日本マイコン	18.6%	ロトラン	1.8%	ルネ	2.8%		
ロム	-4.5%	ロツエ	2.7%	伯東	-4.6%	RS Technologies	15.4%		

※個別銘柄の推奨、今後の組入を示唆・保証するものではありません。菱洋エレクトロは3月28日付でリョーサン菱洋（167A）への株式移転に伴い上場廃止となったため騰落率を記載しておりません。（注）指数推移は起点を100として指数化（現地通貨建て、日足）。指数騰落率は2024年3月末までのそれぞれの期間。使用指数は次のとおり（すべて配当込み）日本：FactSet Japan Semiconductor Index、米国：フィラデルフィア半導体株指数、世界：S&P Global Semiconductor Index。（出所）BloombergよりGlobal X Japan作成



3月 日本の半導体関連ニュース

➤ 3/1 ルネサスエレクトロニクス

インドで半導体後工程の組み立て、テストを請け負うOSAT工場を設立すると発表。印CGパワー・アンド・インダストリアル・ソリューションズが92.3%、ルネサスが6.8%、タイのスターズ・マイクロエレクトロニクスが0.9%出資。合併会社は今後5年間で760億インドルピー（約1,400億円）を投資する予定。工場はグジャラート州サナンドに設立。

➤ 3/8 経済産業省

斎藤経済産業相は、半導体製造装置の輸出管理規制について現時点で新しい措置は予定していないと述べた。米政府が同盟国に中国による半導体技術のアクセス制限強化を迫っているという報道については、外交上のやりとりで回答は差し控えるとした。

➤ 3/18 ジャパンマテリアル

半導体製造用ガスの輸送区間の一部をトラックから鉄道に切り替えた。トラック運転手の時間外労働の規制が強化される物流2024年問題に対応するとともに、輸送時の脱炭素化を目指す。同ガスを鉄道で輸送するのは国内では初の取り組み。

➤ 3/26 京セラ

年間に6,000億円規模の設備投資を行う方針を固めたと報じられた。25年3月期と26年3月期にそれぞれ3,000億円弱の投資を見込む。24年3月期は当初2,750億円を予定したが、半導体市況の悪化を受け1,600億円に減らした。鹿児島県にある主力2工場を拡張、25年までに両工場の周辺で計20ヘクタールの土地を新たに取得する予定。

➤ 3/29 ローム

東芝を買収した日本産業パートナーズ（JIP）に対して、ロームと東芝の半導体事業の業務提携強化に向けた協議を開始する提案を行ったと発表。将来的には資本提携も視野に入れた協議を行う方針。東芝デバイス&ストレージで進めているパワー半導体の製造連携に加え、技術開発、生産、販売、調達、物流など、あらゆる事業活動で業務提携強化を目指す。連携を強化し世界上位企業との差を詰める狙い。

（出所）各種報道よりGlobal X Japan作成

関連ETF

■ [グローバルX 半導体 ETF \[2243\]](#)

対象指数：フィラデルフィア半導体株指数（SOX指数）（配当込み、円換算ベース）

概要：米国に上場している半導体関連事業（設計・製造・流通・販売など）を行う企業への投資を目指します。

■ [グローバルX 半導体関連-日本株式 ETF \[2644\]](#)

対象指数：FactSet Japan Semiconductor Index（配当込み）

概要：半導体関連事業（半導体の製造や加工、製造装置、素材など）を行う日本企業への投資を目指します。

<指数の著作権について>

・フィラデルフィア半導体株指数

Nasdaq®, PHLX Semiconductor Sector Index™, SOXSMは、Nasdaq, Inc. (以下、関連会社を含めて「企業」という)の登録商標であり、Global X Japan株式会社の使用のためにライセンス許諾されています。本製品は、その合法性または適合性に関して、企業により何ら見解を示しておりません。本製品は、企業により発行、保証、販売されまたは宣伝しているものではありません。企業は、本製品に関して一切保証せずまた一切責任を負わないものとします。

・FactSet Japan Semiconductor Index

FactSetおよびFactSet Japan Semiconductor Indexは、FactSet UK Limitedおよびその関連会社の商標であり、Global X Japan株式会社による使用が許諾されています。FactSet UK Limitedは、当ファンドの支援、保証、販売もしくは販売促進をしている

わけではなく、また、当ファンドへの投資の妥当性については一切表明しません。FactSet UK Limitedは、当インデックスまたはそこに含まれるデータの正確性および、または完全性を保証するものではなく、FactSet UK Limitedはその中のいかなる誤り、欠落または中断について一切の責任を負わないものとします。

<当資料のお取り扱いにおけるご注意>

当資料は、Global X Japan株式会社が作成した情報提供資料です。ETFを金融商品取引所で売買される場合には、委託会社作成の投資信託説明書（交付目論見書）は交付されません。売買をお申込みになる証券会社に、当該取引の内容についてご確認ください。金融商品取引所における取引価格と基準価額は異なります。金融商品取引所における価格情報等については、売買をお申込みになる証券会社にお問い合わせになるか、ETFが上場する金融商品取引所のウェブサイト等をご覧ください。株式または金銭の抛出により当ファンドの取得（応募、追加設定）をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社（指定参加者）よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。

当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。また、当資料中における運用実績等は参考とする目的で過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみならず実質的な投資成果を示すものではありません。また、当資料の内容についての著作権は、当社その他当該情報の提供元に帰属しています。また、当資料で掲載した画像等はイメージです。

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ETFに組入れることを示唆・保証するものではありません。

Global X Japan株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3174号 一般社団法人日本投資顧問業協会会員 一般社団法人投資信託協会会員